

要旨の把握 通過率 53.7%

解答類型		割合 (%)
○	ウ	53.7
×	ア	26.4
×	エ	11.0
×	イ	7.2
×	上記以外の解答	0.5
—	無解答	1.2

誤答を見ると、「あかつき」の探査が未来の地球を守ることに繋がっていることは読めてはいるが、「あかつき」が、「機体が傷んでいた」や「燃料が不足」等の「いくつもの困難を乗り越え」たことを「いろいろな問題を克服しながら」と置き換えて捉える読みはできておらず、本文中に出てくる「練習」や「やり直し」という言葉に引っ張られて解答している実態があると考えられる。

「いくつもの困難を乗り越え」たことを「いろいろな問題を克服しながら」と置き換えて捉える読みができていない。

この段落の読みがポイント

五平成二十七年、二度目の挑戦が行われました。最初の失敗から五年の間に、「あかつき」は何度も太陽に接近したため、その熱によって機体は傷んでいたうえ、主エンジンは壊れたままでした。また、燃料が不足しており、練習もやり直しもできない崖っぷちの状況でした。しかし、そのような状況の下、「あかつき」は、奇跡ともいえる成功を取めたのです。いくつもの困難を乗り越え、日本初の惑星探査を実現させたからこそ、「あかつき」は、日本国内のみならず世界中から大きな注目を集めることになったのです。

- ア a 練習ややり直しをくり返し
- イ a 練習ややり直しをくり返し
- ウ a いろいろな問題を克服しながら
- エ a いろいろな問題を克服しながら
- b 未来の地球を守ること
- b 金星の謎を解き明かすこと

「あかつき」は、( a )、日本初の惑星探査を実現させたことで世界中から大きな注目を集めた探査機である。今後、「あかつき」には、金星を調べることだけでなく、地球の謎を解き明かすことが期待されている。それは( b )に繋がっているのである。

5 次の [ ] は、文章をもとに、「あかつき」についてまとめたものです。( a ) ( b ) に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

内容の系統

第1・2学年 読むことイ  
時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

第3・4学年 読むことイ  
目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

第5・6学年 読むことウ  
目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらかんたりにすること。

中学校 第1学年 読むことイ  
文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。

提案

目的や必要に応じて情報を選択し、整理して、自分の言葉で要旨をまとめさせましょう。

- 要旨を捉える学習を行う際、目的を意識せず書かせると、単に情報をつなぎ合わせたものになってしまう。何についてまとめるのかということを確認した上で、必要な情報を取り出させるとともに、こういった場面でそれを使うのか、読み手は誰なのか、どのくらいの字数でまとめるのかなどを明確にさせて書かせることが大切です。そうすることで、取り出した情報を整理して制限字数に収まるよう自分の言葉でまとめて言い表したり、相手に分かりやすいように言い換えたりする必然性が生まれます。